

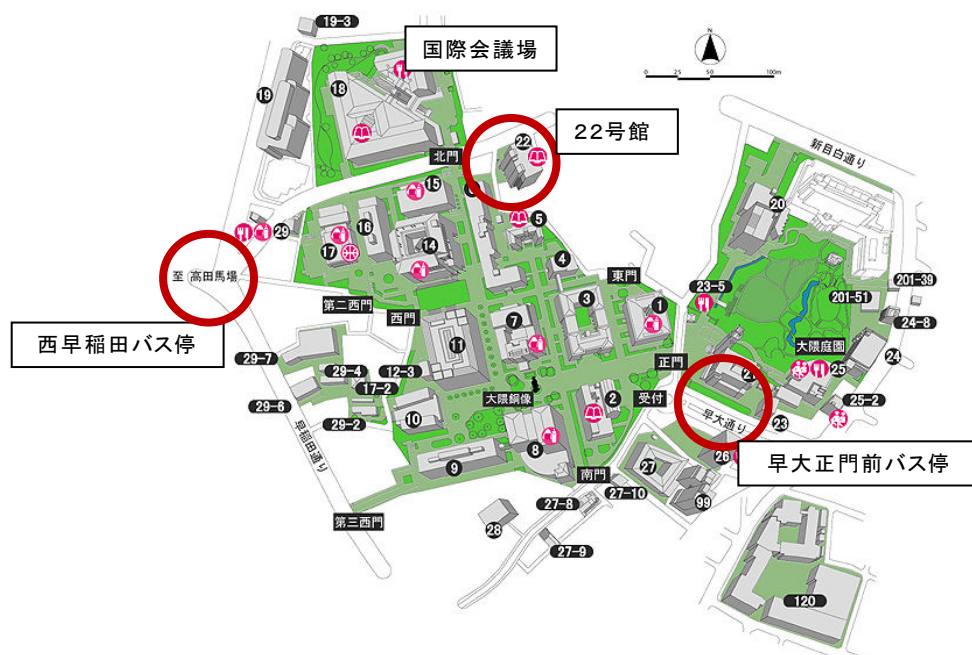


新時代のスポーツ経営を考える

(2テーマ同時開催)

- テーマ1： 総合型地域スポーツクラブ経営の本質を問うⅡ
— 「新しい公共」を担う総合型地域スポーツクラブ —
- テーマ2： 体育・スポーツ経営領域の高度専門職業人養成教育を考える

- 日時：平成22（2010）年12月11日（土）10:00～17:00
- 会場：早稲田大学早稲田キャンパス 22号館 201室（テーマ1）、202室（テーマ2）
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1
- 参加費：当日会場にて徴収いたします（両テーマともに参加できます）。
本学会一般会員・・・2,000円 学生会員・・・1,000円
非会員の社会人・・・3,000円 非会員の学生・・・2000円
- 定員：150名
- 主催：日本体育・スポーツ経営学会
- 後援：（依頼中）
- アクセス：◇地下鉄東京メトロ：東西線早稲田駅（南門－北門－22号館 徒歩8分）
◇バス：[高田馬場駅－早大正門]（国際会議場方面,北門となり 徒歩5分）



テーマ1 総合型地域スポーツクラブ経営の本質を問うⅡ

— 「新しい公共」を担う総合型地域スポーツクラブ —

■ 趣旨：

現政権や「新しい公共」円卓会議においては、人びとの支え合いと活気のある社会、それをつくることに向けたさまざまな当事者の自発的な協働の場を「新しい公共」と規定している。これは古くから日本の地域や民間のなかにあったが、今や失われつつある「公共」を現代にふさわしい形で再編集し、人や地域の絆を作り直すことをねらいとするものである。さきごろ文部科学省から公表された「スポーツ立国戦略」においては、今後概ね10年間を見据え、かかる「新しい公共」の理念のもと、多くの人びとがさまざまな形態（する、観る、支えるなど）でスポーツに積極的に参画できる環境を実現することをめざしている。そこでは、地域のスポーツクラブについて、多様な地域課題の解決も視野に入れて、地域住民が主体的に取り組むスポーツ活動を推進することにより、地域のクラブがスポーツを通じて「新しい公共」を担うコミュニティの拠点（コミュニティスポーツクラブ）として充実・発展していくことが期待されている。

本研究集会では、昨年度の研究会テーマ「互助・共助システムとしての地域スポーツクラブ」との関連も視野に入れながら、「新しい公共」という切り口から今後の地域スポーツクラブのあり方について考えたい。「新しい公共」はともすると、これまでの行政サービスの肩代わりやボランティアの動員といった狭い意味で理解されてしまいがちであるが、上記のねらいを斟酌すると、そうした効率性の側面だけではなく、草の根の住民活動自体がもたらすものについても大きな価値を見いだすことができるはずである。「新しい公共」という言葉に振り回されることのないよう、「新しい公共」を担う地域スポーツクラブの可能性について、参加者ととともに考える機会としたい。

■ プログラム：

- 主催者あいさつ・提案趣旨説明（13:00～13:10）

柳沢 和雄 氏（筑波大学／本学会副会長）

- 基調講演（13:10～14:40）

「新しい公共」と地域コミュニティ

[講師] 金子 郁容 氏（慶應義塾大学／「新しい公共」円卓会議 座長）

[講師略歴]

1948年東京生まれ。慶應義塾大学工学部卒。Ph.D.（スタンフォード大学）。現在慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授。内閣府『「新しい公共」円卓会議』座長、文科省『「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会』座長ほか。著書に「ボランティア」、「ボランティア経済の誕生」（共著）、「コミュニティ・ソリューション」、「日本で「一番」いい学校」など多数。

<休憩>（14:40～15:00）

- シンポジウム（15:00～16:50）

「『新しい公共』を担う総合型地域スポーツクラブ」

コーディネーター：木村 和彦 氏（早稲田大学）

- ・地域スポーツの現場からみた「新しい公共」の可能性

土屋 由紀 氏（烏山スポーツクラブユニオン／
（財）東京都体協クラブ育成アドバイザー）

- ・「新しい公共」とこれからの総合型地域スポーツクラブ

作野 誠一 氏（早稲田大学）

- ・向陽スポーツ文化クラブの実践に学ぶ「新しい公共」

八代 勉 氏（筑波大学名誉教授）

- 閉会（17:00）

テーマ2 体育・スポーツ経営領域の高度専門職業人養成教育を考える

■ 趣旨：

南アW杯や北京五輪における世界規模での人々の熱狂ぶりは記憶に新しいが、その舞台裏ではビジネスの国際化・巨大化、高度な医科学の利用、経済格差や環境問題などが取りざたされた。一方、国内では「スポーツ立国戦略」が策定され、スポーツ団体のガバナンス強化や、地域社会で新しい公共の形成をめざす動きなどが活発化することが期待されている。

このようにスポーツを取り巻く環境が複雑化し、国際的競争も激化する中で、スポーツ団体、スポーツメーカー、マスメディア、教育機関にとどまらず、社会経済の幅広い分野において、今まで以上に多様な経験や国際的視野を持ち、指導的役割を果たすことのできる高度で専門的職業能力あるいはトップマネジメント能力を有する人材が必要とされている。

本学会は昨年度、スポーツ経営やマネジメントに関連する学部カリキュラムに関する討論を行った。本年度は、地球規模でめまぐるしく変化するスポーツ界を鑑み、体育・スポーツ経営の高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人養成、とりわけ大学院の社会人再教育に焦点を絞り議論する。

■ プログラム：

□ 受付（9:30～）

□ 提案趣旨説明・司会（10:00～10:10）

齋藤 隆志 氏（日本女子体育大学）

□ キーノート・レクチャー（10:10～11:40）

「現代社会で求められる高度専門職業人の資質と能力」

〔講師〕 黒田 達也 氏（(社)日本経済団体連合会 21世紀政策研究所）

〔講師略歴〕 東京大学工学部卒

(株)リクルートを経て、松下政経塾 14 期生

(株)エイチ・アイ・エス、エイチ・エス証券(株)を経て

現在、21世紀政策研究所 主任研究員

□ ラウンドテーブル・ディスカッション（15:00～16:50）

「体育・スポーツ経営の高度専門職業人のための大学院社会人再教育のあり方」

コーディネーター： 清水 紀宏 氏（筑波大学）

情報提供者： 間野 義之 氏（早稲田大学）

高橋 義雄 氏（筑波大学）

両大学院社会人修了生

□ 閉会（17:00）

参加申込方法

参加を希望される方は、下記学会事務局まで、電話・FAX・電子メールにて①氏名、②連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）、③所属をご連絡ください。

<申込み・問合せ先>

日本体育・スポーツ経営学会事務局

〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学体育経営学研究室

TEL & FAX : 029-853-6363 E-mail : jsmpes@sakura.cc.tsukuba.ac.jp